

国際物流戦略チーム
幹事会等の取り組み状況

【会議等開催状況】

- ・ 第四回幹事会
平成 18 年 6 月 29 日 (木) 14:00 ~ 16:00
KKR HOTEL OSAKA 3階 銀河
- ・ 国際物流シンポジウム - 関西の国際物流戦略 -
平成 18 年 8 月 5 日 (土) 13:30 ~ 15:30
大阪国際交流センター 大ホール
- ・ 第五回幹事会
平成 18 年 11 月 29 日 (水) 10:00 ~ 12:00
KKR HOTEL OSAKA 3階 銀河
- ・ 国際物流フォーラム 関西一丸! ~アジアとともに更なる飛躍を~
平成 19 年 3 月 2 日 (金) 14:30 ~ 17:00
ハイアット・リージェンシー・オーサカ リージェンシーボールルーム
- ・ 第六回幹事会
平成 19 年 3 月 12 日 (月) 13:00 ~ 15:00
中之島センタービル 29 階 (社)関西経済連合会 会議室

【短期対応施策の取り組み状況】

- ・ 第二回本部会合で決定された短期対応施策について、港湾・道路・空港に関する各施策について、ほぼ対応方針どおり進捗していることが報告された。(資料 1 - 2)
- ・ 大阪湾諸港の一開港化について、船舶交通流の実態や包括的な連携施策に伴う影響について、地元関係者からなる「船舶交通に関する調査検討委員会」にて検討し、船舶通航にかかる安全上の課題の整理がなされ、具体的な方策等について、6月までに結論を得る旨報告された。(参考資料 2 - 4 頁)
- ・ 大阪湾諸港の入港料の低減について、一開港化への取り組みと合わせて、大阪湾内の4港湾管理者が連携して、平成19年度より、大阪湾に複数寄港する外航定期コンテナを取り扱う船舶に対し、入港料を1/2に低減するインセンティブ制度を、我が国で初めて導入するため、具体的に取り組みを進めていることが報告された。(参考資料 2 - 5 頁)

- ・ 4 港湾管理者が連携して、各港連携による入港料低減にあわせ、減免申請の様式の統一など、大阪湾諸港における一部の手続き・サービスの共通化を全国に先駆けて実施することに合意したことが報告された。（参考資料 2 - 6 頁）
- ・ 内航フィーダー輸送の利用促進に向けた社会実験などが実施されたことが報告された。（参考資料 2 - 7 頁）
- ・ 環境にやさしいモーダルシフトの推進を目指した、グリーン物流パートナーシップ推進事業の普及を図り、これまでに関西地区で 11 件を事業認定したことが報告された。（参考資料 2 - 8 頁）
- ・ 淀川左岸線延伸部有識者委員会において、提言を取りまとめたこと、大阪府において、都市内物流の改善に向けたアクションプランを作成したことなどが報告された。（参考資料 3）
- ・ 関西国際空港の国際貨物施設の着実な増強がなされていること、深夜貨物便モデル事業の実施によるリードタイム短縮効果が実証されたこと、2006 年冬期スケジュールにおいて、中国路線を中心に就航数が過去最高となり、国際航空ネットワークが更に充実したことなどが報告された。（参考資料 4）
- ・ 今後、関西一丸となって取り組む施策について議論がなされ、第三回本部会合において、新たな「提言」をとりまとめていくことが了承された。

【課題検討ワーキンググループ】

- ・ 平成 18 年 12 月に設置され、国際物流に関する新たな課題の抽出とともに、海外港湾空港の戦略調査を行い、新たな施策・方向性を取りまとめたことが報告された。
（参考資料 5 - 2・3 頁）

【国際物流フォーラム】

- ・ 国際物流戦略チームワーキンググループにおける検討成果について、専門家の方々に議論をいただき、更なる国際競争力強化について考えることを目的として開催し、関空の完全 24 時間化を活かした国際物流拠点の構築、国際物流に関する実行力のあるシンクタンクの設立、大阪湾は一つ一つではなく一つである等活発な意見交換が行われたことが報告された。
（参考資料 5 - 4 頁）